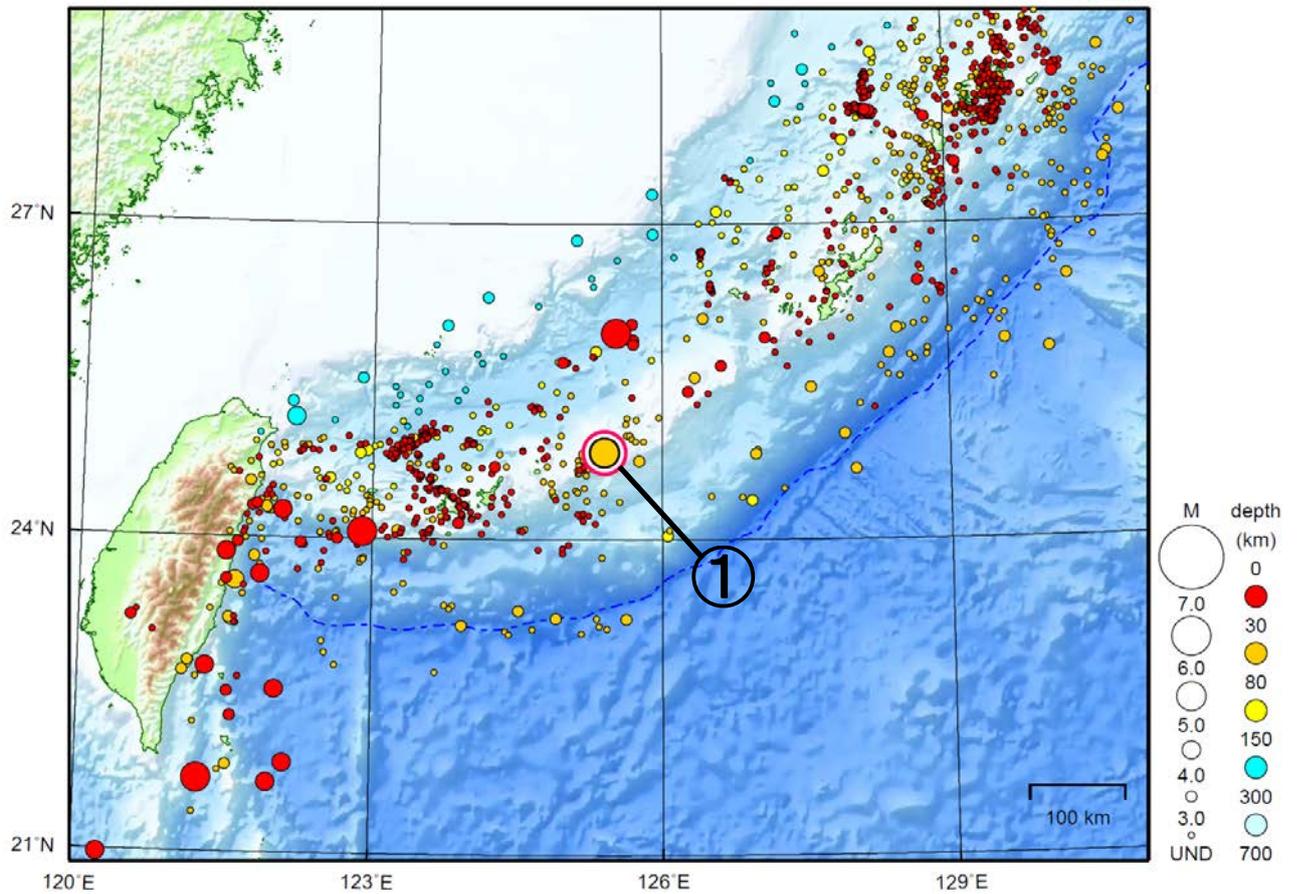


沖縄地方

2014/09/01 00:00 ~ 2014/09/30 24:00

N=1599



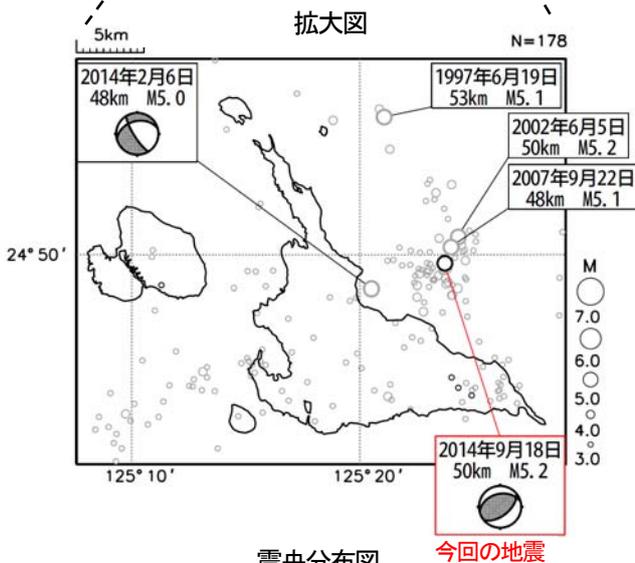
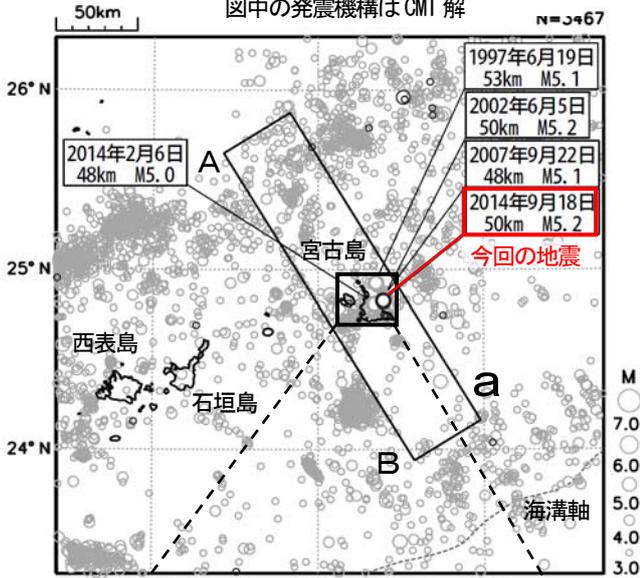
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

- ① 9月18日に宮古島近海でM5.2の地震（最大震度4）が発生した。

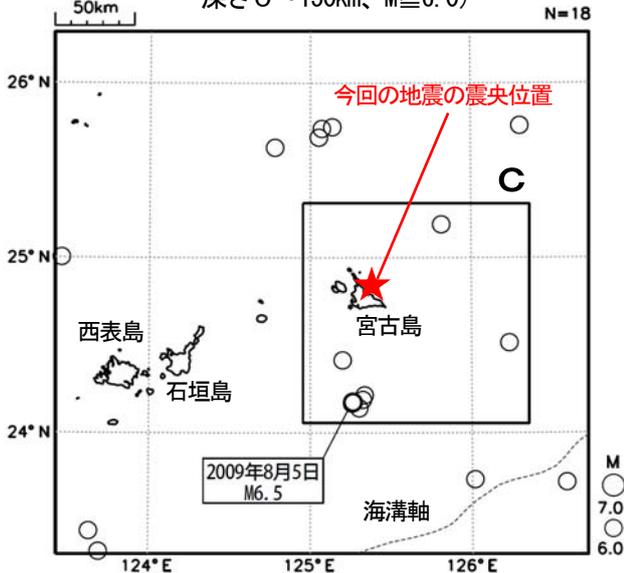
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

9月18日 宮古島近海の地震

震央分布図
(1997年1月1日～2014年9月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
2014年9月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図
(1960年1月1日～2014年9月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

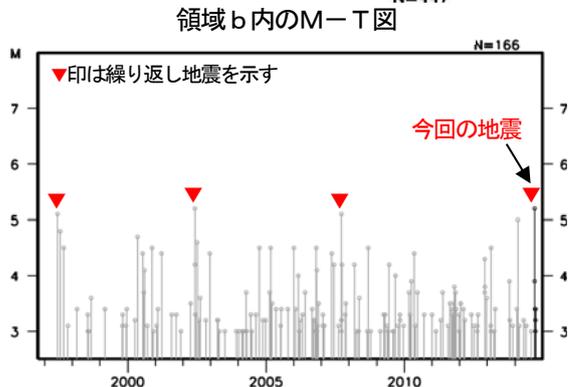
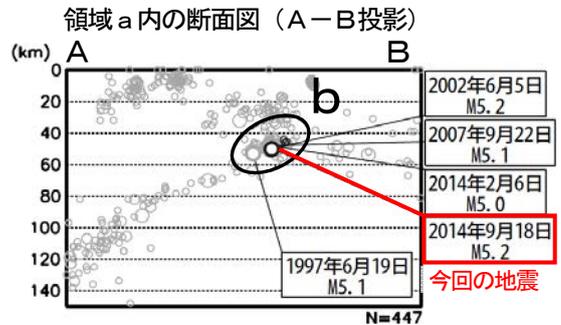


2014年9月18日08時18分に宮古島近海の深さ50kmでM5.2の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

なお、今回の地震の震源付近では、今回の地震も含め、M5.1前後の地震が平均で6年間隔で発生している(繰り返し地震*)。

1997年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が今回の地震を含めて5回発生している(このうち、4回が繰り返し地震)。

※繰り返し地震とは、発生場所や規模がほぼ同じでほぼ一定間隔で繰り返し発生している地震である。また、観測される地震波形も類似するとの特徴を持つ。



1960年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生している。

